

子どもたちの「見えない心の傷」

太宰府市NPO・ボランティア支援センターによく来所される喜久里さんのご友人、鶴見 未穂子さんからの投稿を、ご紹介いたします。

私は現在、東京都郊外に在住していて、クラシックバレエを都内とその近郊で教えています。大震災数日目から私は、被災した子どもたちのPTSDの問題について心配をしてきました。

そんな時、ある共働きの、小学生のお母様からもらったこんなメールに心が凍りました。「学校の給食が手配困難ということで、半日日課となり、余震や停電の中、子どもが一人ぼっちで留守番をする毎日です。」というのです。聞けば、鍵っ子の頼みの綱である習い事……スイミングはプールにひび割れと計画停電のため、学習塾やバレエも計画停電のためお休みで、放課後は自宅に一人で過ごすほかはなかったのです。

震災から2週間がたち、バレエ教室を再開した頃、特に被災地に近い、栃木・茨城では、
そういえば「甘えん坊になった」
そういえば「(母親曰く)狂暴になった」
そういえば「孫が10分に一度トイレと言って困る時があった」
そういえば「なんだか元気がない」
等、子どもたちの小さな変調が、たくさん耳に入ってきました。



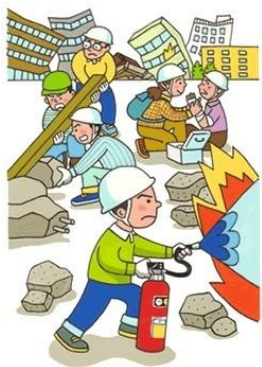
計画停電、物不足、ガソリン不足の真ただ中で、陸の孤島と化す地域もあり、大人たちはただただ生きて行く事で躍起でした。ですから、子どもの問題にまで気持ちが及んでいなかった。私が尋ねるまで、あまり気に留めていなかったのです。

震災から三週間が過ぎる頃、栃木の頑張り屋の小学五年生が、レッスン中、突然、私の目の前で貧血を起こして倒れました。意識もすぐに戻り、しばらく休んだ後、たまたま見学されていたお母様と歩いて帰りました。でもとても心配になって、お母様と連絡を取りました。レッスン当日、私は、身体のエネルギーの通し方の話をする際に、いつものように解剖学的な説明をし、血管についての話しをしていました。

もしや…と、お母様に尋ねますと、「実は今回の地震で私の友人が生後2ヶ月の赤ちゃんと自宅で津波にのまれました。病院に運ばれ一度は意識を取り戻したのですが、海水や重油をたくさん飲んでいたので、先日吐血して亡くなりました。娘は、その話を聞いていたので、血には敏感になっていたのかもしれない」と。



また、震災から1ヶ月が過ぎるころ、他の教室では、小6になる



生徒が「気持ちが悪い」というので休ませました。共働きのご家庭のお子さんでしたので、これは？と思い「〇〇ちゃんは地震の時どこにいたの？」にと聞くと、「一人で家にいた。」と言うのです。ご両親は夜の9時頃まで家に帰れず、兄弟が帰ってきたのは夜の6時。

それまで、強い余震の中を、茨城の自宅で一人で我慢していたというのです。「怖かったね！頑張ったね！」と肩を抱くと、いつも気丈な子なのですが、ポロポロと泣き出しました。驚いて「お母さんに伝えたの？」

と聞きましたら、「言ってない。」と答えました。とても責任感の強いしっかりした子で、心配をかけてはいけないと思っていたそうです。多感なころで、恥ずかしくもあったのだとも思いました。私は教室にいた他の生徒たちに向かって「そういう時には、心配を掛けてもいいんだよ！頑張らないで！我慢しないで！」と伝えました。そして、最後は一同で手を握り合い、励ましあってレッスンを終えました。

また、駅で度重なる大きな余震を受けてしまった生徒が、怖くてどうしても電車に乗ることができず、レッスンをお休みしてしまうというケースもありました。



子どもたちは「大丈夫」を装ったり、弱いところを見せないように頑張ってしまうことも多いので、「まさか、うちの子がそんなに傷ついていたとは…」と、驚かれるケースも多くあります。大丈夫それでもPTSDは遅れてやってくることもあります。いつもよりスキップを多く、手間暇を大切に、話を聞いて不安を吐き出させ、あなたを守っているから大丈夫、と安心して過ごさせてあげられるように、と私は呼び掛けてきています。ただ、余りにショックを受けている子どもたちに本当の笑顔が戻るのには、まだ時間がかかりそうです。

私自身、今回は本当にたくさんの事を学びました。バレエ教室の再開時には「近い方で大きな被害にあわれた方はありませんか？」などお尋ねしていましたが、こういう時態には、さらにもっと繊細に、慎重に考えて子ども達に接するべきだと、反省をしました。そして、1つの結論として、社会的弱者である、子ども・高齢者が、こういう災害非常時にどんなダメージをうけるのか？私たちはどんな点に留意をすべきか？防災訓練等と共に、私たち大人が普段から知っておくのが良いのではないかと、また、そういう講座や学ぶ場を持っていても良いのではないかと、とも思うようになりました。なぜなら、子どもたちは私たちの未来、高齢者の姿も私たちの未来の姿だからです。

